

# 春日部駅周辺エリアプラットフォーム キックオフイベント

---

カルチャア・コンビニエンス・クラブ株式会社

2026/3/17

この事業は、埼玉県ふるさと創造資金の補助により実施しています



官民連携まちづくりの推進及び情報発信を目的として、  
会場内での記録写真・動画撮影、並びに参加者へのインタビューを行う可能性があります。

それらの内容は、春日部市が発信する広報媒体（市報、ホームページ、SNS等）にて、  
紹介させていただく場合があります。

## 官民連携まちづくりが始動！

-春日部駅周辺エリアプラットフォーム キックオフイベント-

みんなの声が  
まちづくりに  
つながる

エリアプラットフォームとは？  
まちづくりや地域課題解決に  
関心がある人が集まって、  
協議調整を行うための場

2026 3.17 火 18:30-19:40 (予定)  
開場18:00・無料

春日部駅周辺のエリアプラットフォームについて、  
構築までの取組報告と今後のまちづくりに向けて"キックオフイベント"を開催いたします。  
イベント参加ご希望の方は、以下申込方法よりお手続きください。

会場	春日部市役所 本庁舎2階 201～203会議室
内容	・(仮称) 春日部駅周辺エリアプラットフォームの概要説明 ・エリアプラットフォーム構成者紹介 ・【講演】有限会社ハートビートプラン 園田 聡 氏 ほか
定員	35名程度 (オンライン配信あり) ※現地参加を希望とした場合でも人数制限の関係でオンラインをご案内する場合があります
申込方法	下記いずれかの方法でお申し込み下さい ①専用申請フォーム (右記2次元コード) ②都市計画課の窓口にて申請 (開庁時間のみ) ・申込期日: 2026年3月10日 (火) 17:00まで ・申請書は窓口にご用意しております ・入力した情報は、本取り組みを推進する目的以外で使用することはありません

主催 / (仮称)春日部駅周辺エリアプラットフォーム、春日部市、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社  
問合せ先 / 春日部市役所 都市整備部 都市計画課 中心市街地担当 TEL: 048-739-6842

1. 今年度の活動実績 (動画紹介)
2. 市長ごあいさつ
3. エリアプラットフォームの基本方針
4. エリアプラットフォーム構成者紹介/スピーチ
5. 【講演】有限会社ハートビートプラン 園田 聡 氏
6. トークセッション
7. 記念撮影・アンケート

# (仮称)かすかべエリアプラットフォーム基本方針

---

カルチャア・コンビニエンス・クラブ株式会社

2026/3/17

1. 活動名称
2. 春日部駅周辺の現状
3. 基本理念・目的（なぜやるか）
4. 基本方針の柱
5. エリアプラットフォームについて
6. 運営方針
7. 今後の計画

# (仮称)かすかべエリアプラットフォーム

正式名称は、来年度以降の取り組みの中で確定予定



※画像はイメージです

## 2.春日部駅周辺の現状



春日部駅写真

駅周辺のにぎわい減少



春日部駅利用者  
約10万人超/日を  
活かしてきていない

高齢化/商業施設撤退



①購買行動の市外流出  
②低未利用地の増加  
(空地/空家/空店舗/倉庫/駐車場など)

公共施設が有効に  
利活用されていない



行政の計画・整備後、  
民間の声を  
反映しにくい構造

行政主導(ハード整備中心)のまちづくりから、**官民連携で持続可能なまちづくりへ**

### 現状

1. 駅前は「**滞留する場所ではなく通過する場所**」
2. 東西の分断、回遊性が低い**駅周辺の繋がりがバラバラ**
3. 空き店舗増加、老朽化
4. 夜は閑散として治安が不安で案内できる場所が少ない
5. **情報共有の仕組み不足、活動が見えにくい**

### 強み

1. **都心アクセス良好**（鉄道・道路ネットワーク）
2. 古利根川など**自然資源、広い歩道**
3. クレヨンしんちゃんという強力な**コンテンツ**
4. 首都圏外郭放水路など**観光資源**
5. **商店街や団体のつながり、地域プレイヤーの存在**
6. 土地にゆとりがあり開発余地あり
7. **市民人口 約23万人**という規模

### 課題

1. **駅前に「何もない」印象**、滞在・消費機能不足
2. 東西の一体感が弱い、回遊性不足
3. 情報発信・共有の仕組みが弱い
4. **若い世代の参加が少ない**
5. **官民・地域プレイヤー間の連携不足**
6. 保守的な風土、忖度構造
7. 観光資源の活用不足、案内力の弱さ
8. 会議が形骸化

### ポテンシャル =眠っている価値や魅力のこと

1. 多世代・多文化交流の**居場所づくり**
2. **情報共有**プラットフォーム（デジタル＋リアル）
3. フラットな関係性、主体性を尊重する**協働文化**
4. アーバンファームなど**農と都市**の中間ポジション
5. クレヨンしんちゃん・外郭放水路を核にした**観光強化**
6. 鉄道高架化・再開発による空間更新
7. **芸術・文化活動**のアクセシビリティ向上
8. フィールドワーク型ワークショップで**関係構築**

## ①特に実現してほしいもの

地域住民向けアンケート 回答267件

no	選択肢	構成比	件数
1	ショッピング施設	35.96%	96
2	子育て・ファミリー向け施設	8.61%	23
3	緑や自然を感じる空間	7.87%	21
4	居心地の良い休憩場所	5.99%	16
5	仕事・勉強・学びができるスペース	5.62%	15
6	音楽・アート・映画を楽しめる場所	4.49%	12
7	飲食イベント・マルシェ	4.12%	11
8	イベントや交流の場	3.00%	8
9	観光拠点	2.62%	7
10	自己表現やチャレンジができる	2.62%	7

- お買いもの/飲食
- 子育て/ファミリー向け
- 自然空間/休憩場所
- 仕事・勉強

## ③学生にとって残念なこと

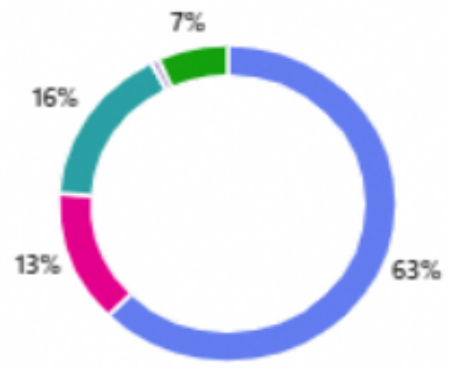
市内学生向けアンケート 回答1618件

no	項目	構成比	件数
1	遊ぶ場所が少ない	64.5%	1044
2	買い物したいお店がない	42.0%	679
3	夜や休日に楽しめる場所がない	33.0%	534
4	ごはんを食べるところが少ない	28.6%	463
5	居心地の良い場所がない	23.3%	377
6	勉強できる場所がない	22.1%	357
7	清潔感が感じられない	19.5%	315
8	特にない	18.9%	306
9	治安が心配	17.1%	276
10	新しい気づきや学びがない	15.9%	258

- 遊び場/楽しめる場が少ない
- お買いもの/飲食が少ない
- 居心地良い場所がない
- 勉強場所が少ない

## ②実現による行動変容

訪問頻度・滞在時間が  
確実に増えると6割が回答



- 訪問頻度・滞在時間共に増える 167
- 訪問頻度が増える 36
- 滞在時間が増える 44
- いずれも増えない 2
- その他 18

## ④理想の姿（キーワード）

地域住民向けアンケート 回答267件

賑わい・集客・ハブ	ショッピング・飲食・日常機能の充実	子育て・ファミリーに優しい	安心・安全・清潔・治安
緑・自然・癒し	歴史・文化	交流・コミュニティ・自己表現	高架化・交通アクセス
都市ブランド・魅力の向上	滞在・憩い・ゆとり空間	観光・インバウンド・市外から訪れたいくなる	公共・福祉・文化拠点

#### 鉄道の高架化と 関連するハード整備

春日部駅の高架化は、100年に1度の事業  
人主役のまちづくりがしたいが、ハード整備だけではにぎわい創出が難しい

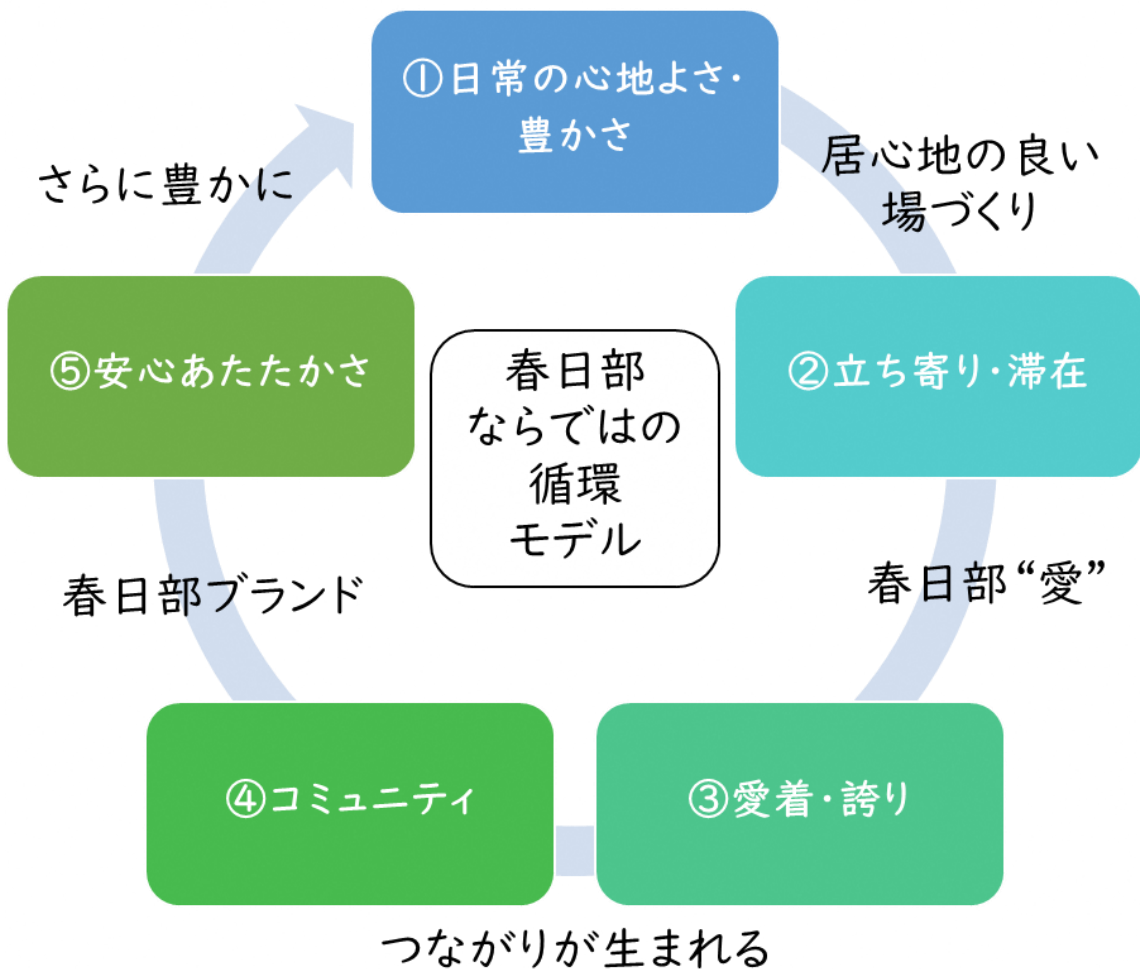
#### まちづくり活動の 日常化

現状のまちづくり活動は点在化  
地域の魅力やにぎわいをつくるイベントや取り組みを一過性に終わらせず  
“日常化”させていく

#### 持続可能な 仕組みづくり

春日部駅前エリアを中心に官民連携による持続可能なまちづくりの仕組み  
を構築し、地域の魅力と活力を高める

## まちが自然と良くなっていく循環モデル



⇒ 来年度、コンセプト・実験内容などを磨き上げ未来ビジョン策定へ

## 春日部ならではのまちづくり循環モデル解説

- ① 日常の小さな心地よさに気づき、ふらっと行きたくなる
- ② エリアプラットフォームの活動から駅前や公園などで春日部らしい魅力に触れられる体験が生まれ、心地よく滞在できる
- ③ その体験が春日部“愛”につながり、愛着や誇りが生まれる
- ④ 人やお店・活動とのつながりからコミュニティが育ち、「春日部ってこんな街」と伝えたいという広がりも生まれる
- ⑤ 居心地の良い場・魅力的な体験・かすかべ“愛”・コミュニティが生まれることで、日常の安心・あたたかさがうまれる
- ⑥ ①～⑤の日常を繰り返すことで、さらに日常が好循環する

## まちづくりが循環するために必要なこと

ターゲット設定	•誰にとって何が心地よい日常なのか(学生・子育て世代・シニア・来訪者など)を明確にすること
魅力の見える化 ⇒情報発信	•ターゲット別に春日部の魅力を“見える化”し、春日部ならではの良さを磨き上げて効率的に発信することで、生活者の行動につなげる
駅周辺×エリア横断 滞在の仕組み化	•駅前 × 市域全体を連動させた回遊と滞在の仕組みを整えること
持続可能な運営体制 と経済循環	•世代や立場を超えて“続く関係”が生まれる仕組みをつくり、人が集まり持続的に経済が循環するにぎわいの場をつくる

# 官民連携による中心市街地の活性化

### エリアプラットフォームとは？



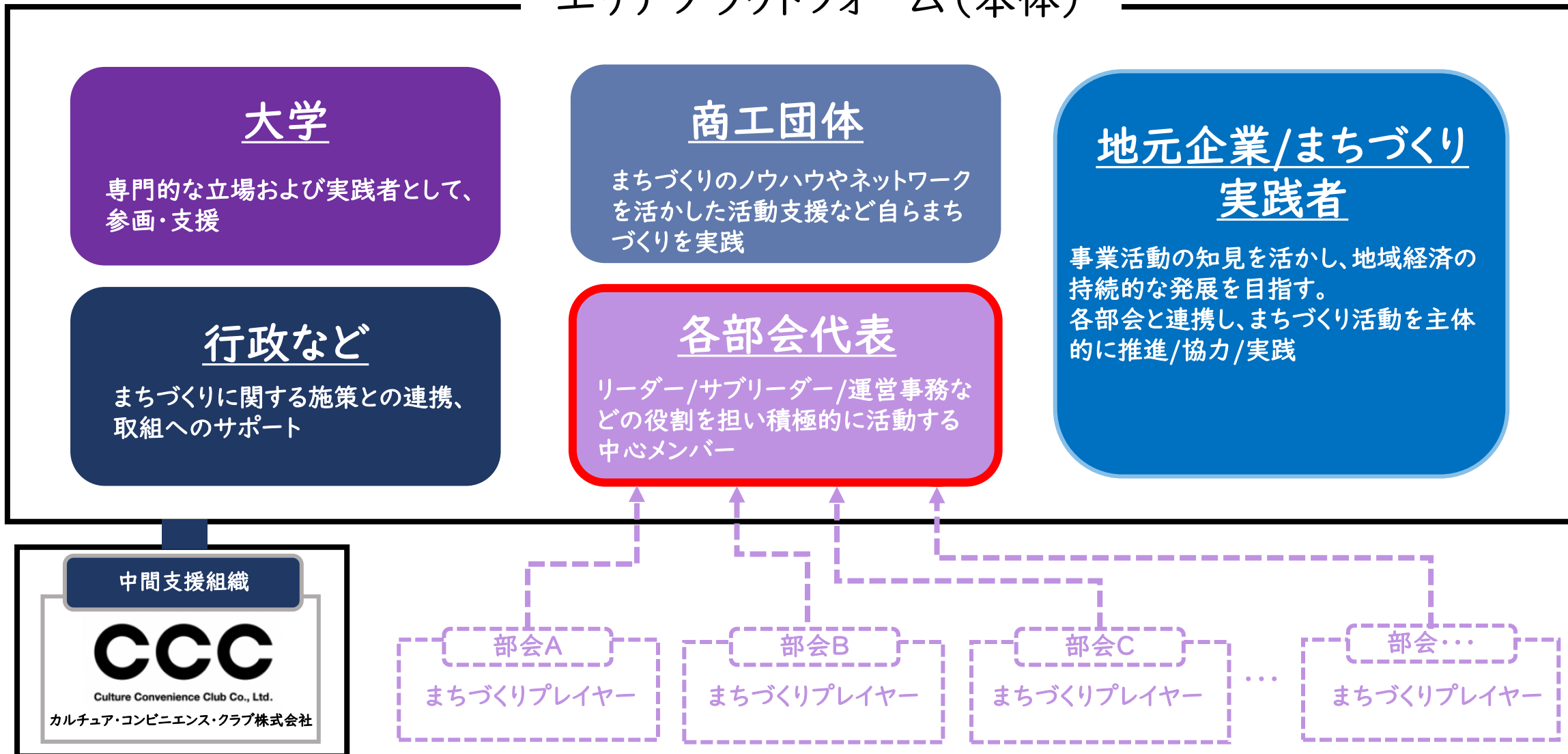
地域の魅力づくりや地域課題解決に関心のある企業、商工団体、住民などが集まって、まちの将来像を議論し描き、その実現に向けた取り組み(=まちづくり)について、協議・調整を行う場です。

### エリアプラットフォームの機能・役割

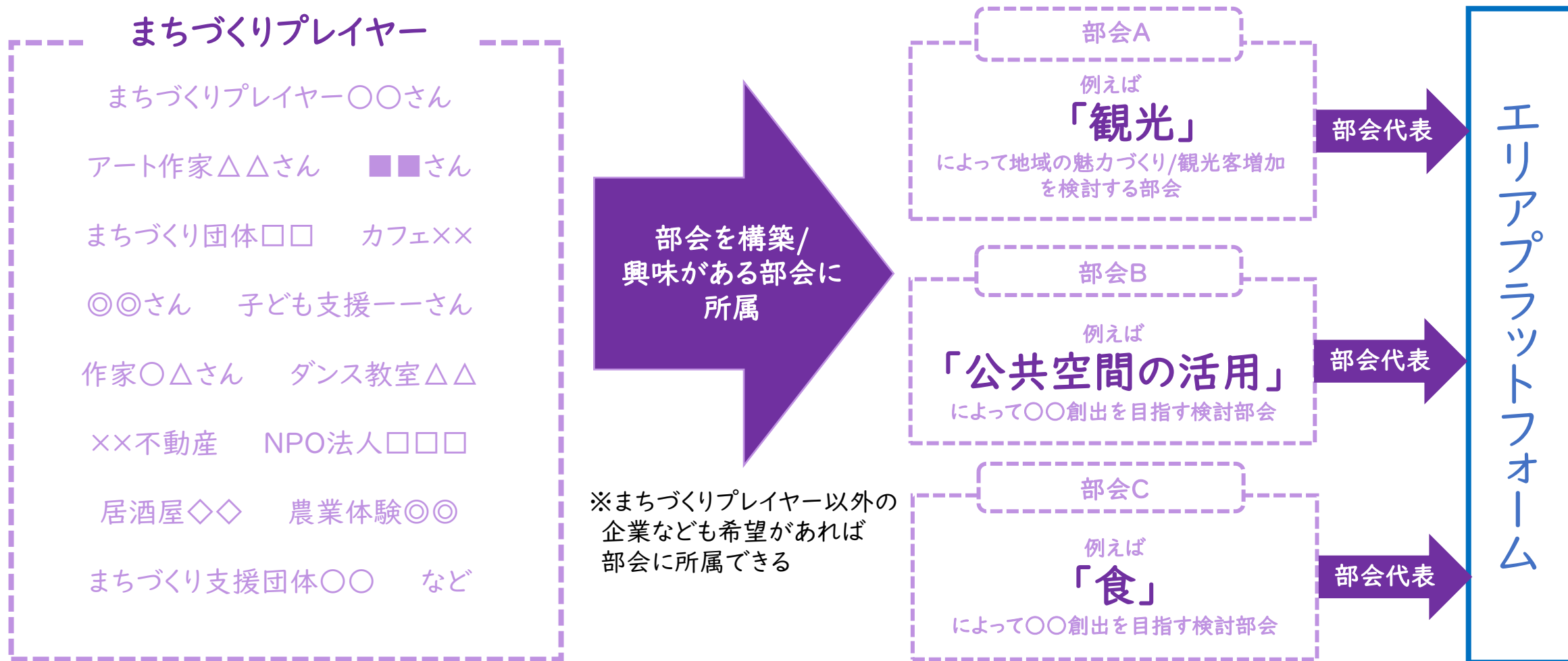
- ①新たに生まれる公共空間を日常的に利活用するための提言
- ②公共空間の利活用や地域の魅力向上につながる活動を実施
- ③多様なテーマを活かしたにぎわい創出の活動展開

これらの取組により、歩いて楽しめる  
「ウォーカブル」なまちを実現する

## エリアプラットフォーム(本体)



部会とは、**テーマや目的**ごとに集まり、**自主的**に活動や事業を考え実践するグループ(プロジェクト)  
ある程度**自由に部会に参加・退会**できる環境を構築する



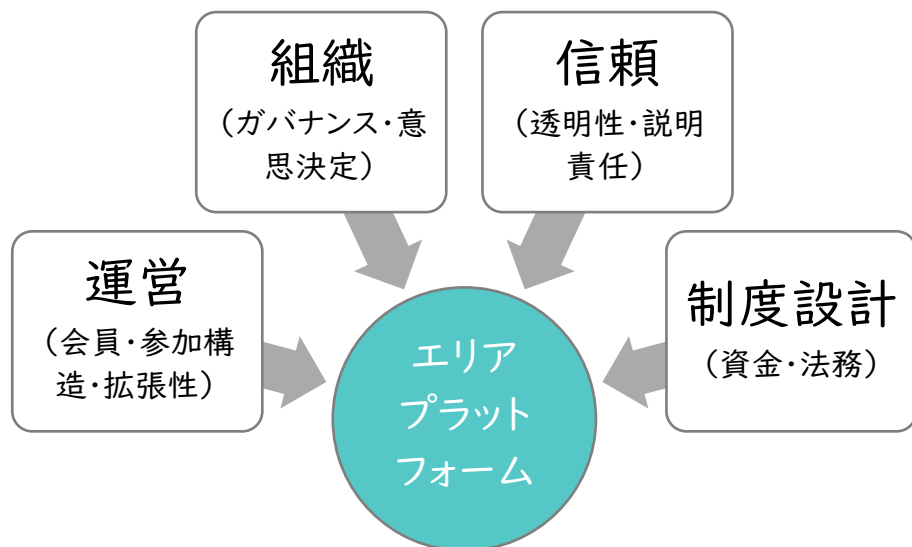
①構成者は、**次世代**のまちづくりを担う世代(**20~40代**)を中心に構成

②機動力のある運営を実現するために、エリアプラットフォーム本体は**少人数で構成**し、**意思決定の迅速化**を図ります

③多様な方々(まちづくりプレイヤー・企業・学校・団体など)がそれぞれの関心や専門性を活かして参画できるよう、**テーマ別の「部会」**を設け**幅広い参加機会**を創出

日常的な  
にぎわいの創出へ

透明性が高く安心して参加できる運営



会員規約・運営ルールの整備

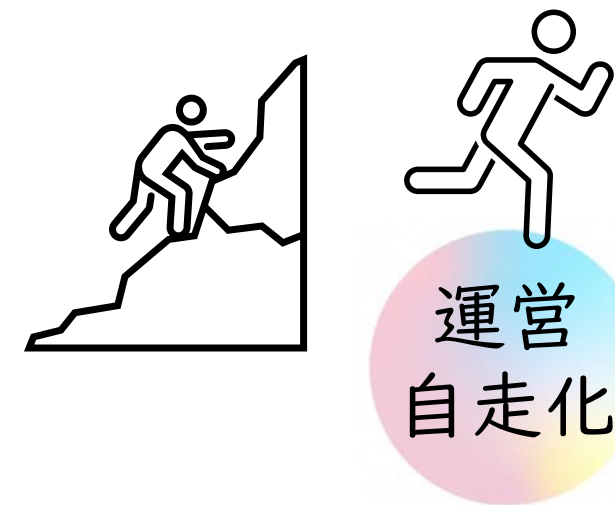
(仮称)  
かすかべ  
エリア  
プラットフォーム  
規約

(仮称)  
かすかべ  
エリア  
プラットフォーム  
部会  
運営ルール(案)

後日、春日部市官民連携まちづくり推進事業HPに公開予定  
<https://www.city.kasukabe.lg.jp/soshikikarasagasu/toshikei/kakuka/gyomuannai/7/35722.html>

令和9年度～

社会実験の実践  
⇒ 検証/改善  
⇒ 持続可能な  
まちづくりの検討



運営  
自走化

令和8年度

未来ビジョン策定/  
社会実験の検討



未来ビジョンとは？

**“エリアの将来像・ありたい姿”**

どんな場・街・暮らし・つながりを実現したいか  
という理想の状態を言葉にしたもの。  
企画形成・仕組みとルールづくり・  
有効な手段などを考えていく指針

今年度

令和7年度

エリアプラットフォーム  
構築/基本方針策定



# エリアプラットフォーム構成者ご紹介(順不同)

2026年3月17日時点

no	氏名(敬省略)	所属又は職名
1	木下 芳郎	日本工業大学 建築学科 木下研究室
2	伊藤 大河	共栄大学
3	並木 勇樹	公益社団法人春日部青年会議所
4	田中 聖嗣	春日部商工会議所青年部
5	野村 一生	庄和商工会青年部
6	新井 康紀	春日部西口商店会連合会
7	飯山 直生	春日部駅東口商店会連合会/粕壁商店街 NEXTPROJECTリーダー
8	三輪 祐子	粕壁商店街 NEXTPROJECT 商店街活性化部会長
9	外谷地 友幸	匠大塚株式会社
10	荒井 百合子	東横INN春日部駅西口
11	内藤 実咲	東武トップツアーズ株式会社
12	斎田 修	埼玉りそな銀行
13	吉澤 賢	武蔵野銀行
14	深野 智之	埼玉縣信用金庫
15	梶 直輝	フォトグラファー
16	酒井 直之	東京藝術大学教育研究助手/グローバル・ダンス・コレクティブ代表
17	折原 章哲	一般社団法人春日部市観光協会
18	鹿野広太	一般社団法人春日部市観光協会
19	長田 昌利	教職員
20	関根 美由紀	市民活動団体 Life Connect +I (代表)
21	角辻 直美	ナオナ
22	石丸 昌吾	株式会社MRP
23	大成 美鈴	地域活性化コーディネーターf(エフ)
24	竹 順哉	よんなな防災会/京都大学大学院情報学研究科
25	中村 隆之	BORDER CAFE
26		その他 地元企業

合計 26名

＼早ければ30秒で回答完了／

右記QRコードより、  
アンケート回答のご協力をお願いします  
※本日の回答が難しい場合、3月18日(水)まで

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です



<https://forms.office.com/r/Abk1jgx5pB>